

## I 出題の趣旨

- (1) 社会の諸問題に目を向け、そこから課題を見つけ出すことができるかをみる。その際、今までに学習した知識を用いて、探究活動につなげられるかをみる。
- (2) 国際的なイベントであるオリンピック・パラリンピックについて、多角的に課題を見出す力をみる。その際、観察結果について論理的思考力をはたらかせながら考察し、表現する力をみる。また、資料やデータ、英文から情報を正確に読み取り、解決に導くためのヒントを得て、論理的な文章として総合し、表現できる力をみる。
- (3) 複数の文章や資料を通して多面的に自身の考えを述べることをみる。

## II 評価の観点

- 1 問1 正六角形の1つの内角の大きさを求めることができるか。  
問2 正多角形でテセレーションができる条件を求めることができるか。  
問3 正多角形でテセレーションができるものは3種類しかないことの証明を考えることができるか。  
問4 正六角形でテセレーションをすることのよさを見出す過程で、その根拠となる数学的な事実を、式や言葉を用いて記述できるか。
- 2 問1 一次関数の式を求め、それを利用し反応時間を求めることができるか。  
問2 実験データをグラフに整理することができるか。  
問3 グラフから値を読み取り、適切に計算することができるか。  
問4 プログラムの基本構造の1つである分岐処理を理解できているか。  
問5 会話文やアプリの仕様から何を行うのかを読み取り、行う処理を想像することができるか。  
問6 実験結果を批判的に分析し、適切な追加実験を提案することができるか。
- 3 問1 文章の内容を正しく読み取り、要点を適切に表現することができるか。  
問2 (1) 与えられた資料を正しく読み取り、「公平」や「平等」をめぐる課題について簡潔に説明することができるか。  
(2) 資料から必要な情報を正しく読み取り、自ら課題を立て、情報を集め、整理・分析し、適切に表現することができるか。  
問3 複数の資料から情報をよみとり、パラリンピックをめぐる「公平」や「平等」の課題について、簡潔に説明することができるか。
- 4 問1 場面にふさわしい言語材料を正確に使用し、相手に正しく伝わるように表現できるか。(①現在完了形/過去形 ②tell+目的語+不定詞、and)

- 問2 オリンピックメダリストに対するインタビューについての英文を読み、概要や要点を捉え、それぞれの解答を導くための適切な質問を選ぶことができるか。
- 問3 オリンピックメダリストに対するインタビューについての英文を読み、言語材料の基礎的・基本的な知識を組み合わせ、正確に英文を完成できるか。
- 問4 (1) 自分自身がメダリストに質問する機会を得たと仮定して、どのような情報が欲しいかを考え、それを聞き出すために適切な質問をできるか。  
(2) それぞれの経験に基づいて「成功から学ぶこと」と「失敗から学ぶこと」の意義を考え、それをどのように今後の学びに反映させていくかについて、相手に伝わるように表現できるか。